

せの喜代の収支報告

区議会議員には、議員報酬のほかに、政務調査費（会派ごと、一人月8万円、研究研修費・会議費・調査旅費・通信運搬費・資料作成費・資料購入費・広報費・広聴費）が支給されます。また、議員枠として審議会に参加（報酬一回6900円から18000円）します。しかし、審議会に参加するのも、議員の仕事のうちであり、報酬の二重取りと考えられます。本来、議員は議会で発言できるのですから、審議会はより多くの区民や学識経験者の参加が望ましいと思います。

		月	期末報酬合計（2008年度）
収入	議員報酬	601,000	3,050,074
	共済掛金	96,000	228,600
支出	所得税	29,760	451,434
	特別区民・都民税	46,917	
	国民健康保険料	56,667	
	国民年金	14,100	
	活動費	170,000	480,000
	選挙積立金	30,000	90,000
	手取り	157,246	1,800,040



今年の議会運営委員会の行政視察報告書

(7月22日～24日)より

視察先の北海道白老町議会においては、すでに12年前から、議員が諮問機関である各種審議会・委員会の兼職禁止を定めている。各議員は審議会・委員会を傍聴する努力を行うとのこと。このほか、各委員会の地域別開催、議員の出前トーク、休日・夜間議会を実施している。荒川区議会でも、このような先進的な取り組みを行うのかどうか、検討するべきだと思う。23区で議会運営委員会として視察旅行に行くのは、唯一荒川区だけである。視察もちろん、税金がかかっている。視察先の取り組みを、荒川区でどう生かしていくのか、あるいは、もっといいものをどう生み出すのか、逐一、議論する必要がある。

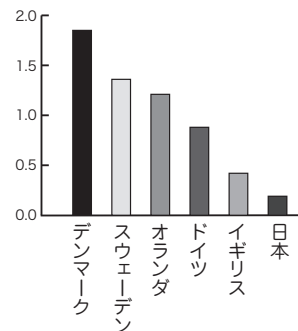
議会改革を！



オバマ大統領が来日して、カッコよく演説して、中国へと去っていった。彼の来日を遅らせた、米軍基地内での銃の乱射事件には心が痛む。戦争が、いかに人の心を蝕むか、改めて、世に問うたのだと思う。アフガニスタン帰還兵の精神疾患はアメリカでもすでに社会問題になっている。なのに、愚かにも戦争を続けている。日本の米軍基地の75%を引き受けてきた沖縄の人々の、基地県外移設・国外移設の願いは、日本人全体のものだ。鳩山政権がどのような合意を引き出せるのか、予測は難しいが、来年の日米安保条約締結50周年を前に、今の米軍基地が、「現状でしようがない」のかどうか、再検証を徹底しておこなってほしいものだ。

政権交代に思う もっと情報公開を

雇用問題もまったなしの対策が求められている。欧州の、生活保障をしたうえでの職業訓練や能力開発の充実が注目されているが、いままでの日本は雇用政策への税金の支出が少ないことに驚く。



積極的な雇用政策の支出のGDP比は
(デンマーク 1.85%、スウェーデン 1.36%、オランダ 1.21%、ドイツ 0.88%、イギリス 0.42%、日本 0.19%)

少子高齢社会に対応し、新しい時代を切り拓く新産業を創出するための、教育や能力開発に税金を回してほしい。今まで、税金が、いかにコンクリートにつぎ込まれてきたか、国民は知らなすぎた。天下りについても、隠されてきた。貧困についての政府発表も今まではなかった。今こそ、国民が主権者となるときである。情報公開を求めよう。「コンクリートから人づくりへ」に期待したい。